

## 『どうしてわかるの？サクラが咲く日』

調べるっておもしろい！

七尾純 アリス館



3月になったばかりでサクラの話題はちょっと気が早いでしょうか？いえいえ、河津桜などはもう咲き始めていますよ。3月、4月と、日本全国はサクラ開花情報で賑わいます。『どうしてわかるの？サクラが咲く日』を読んでおくと、刻々と変わる開花情報をライブで楽しめるでしょう。

最初に著者がサクラの開花にふしぎを感じたのは、沖縄

の桜が北から南へと開花していくというニュースからでした。開花が南から始まって北上していくのなら普通です。なぜ沖縄では北から南下するのでしょうか？

この本のおもしろさは、答えだけでなく調べる過程がしっかり書いてあることで、自分も著者と一緒になって調べているような感じがします。本でもインターネットでも

なかなか解答が見つからなかった著者は、沖縄气象台に電話して問い合わせました。

サクラは一定の温度以下になると寒さに耐えるために休眠するのだそうです。そしてこの休眠が終わってある温度以上にあたかくなると咲き始めます。そのため開花情報に使われるソメイヨシノの場合は暖かくなる南から北へとサクラ前線は北上します。ところが沖縄で咲くヒカンザクラの場合は休眠期間が短く、また日中は暖かいため休眠期間が終わった順、つまり休眠に入った順にすぐに開花するのだそうです。休眠に入るのは寒くなる順なので、北から南へととなるとか。

サクラの開花情報は私たちのお花見の便宜のためだけにあるわけではありません。開花の早い遅いでその年の気候を予測したり、環境の変化をいち早く読み取ることもできるのです。毎年の開花をチェックすることで、サクラは大切な自然の物差しとなるのですね。

(小川)